

2010.12.18(土) … 2011.1.23(日)

休館日：12/20、12/29 … 1/1、1/11、1/17

dot + 点

……ここからはじまる……

みんなであそぶプログラム

[10:00-4:00]

「ドット・マップ」をもらって、地図上にある「点」を探してみよう。
「みてあそぶ」「さがしてあそぶ」「やってみる」。
たくさんの仕掛けや遊びにチャレンジ!

- ドット・タウン ●てんでんハウス ●パンチングカード
- ドット・アニメ ●ドット・モアレ ほか

あつまるあそぶプログラム

[土・日曜日、祝日実施(1月22、23日は除く)
2:00-2:30、3:00-3:30]

家族や友達だけでなく、たくさんの人とコミュニケーションをとれる遊びです。

- ドット・モット
- 対象：5歳～(幼児は大人と参加)
定員：各回30名
受付：各回30分前

あそび実験工房

[12月23、27日、1月4、6、10日 2:00-3:00]

「点」をテーマにじっくりとどろんどろんプログラムです。
定員：10人程度
受付：30分前

たべるあそぶプログラム

[日曜日実施 11:00-12:00 2:00-3:00]

つくること・食べることそのものを楽しむプログラムです。

- 対象：子どもと大人
- 定員：各回6組
- 受付：各回30分前

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。



「点」、英語では「dot(ドット)」。

いちばん小さな単位。

ペンや鉛筆の先で、ちよんとつけたような、小さなしるし。

位置はあるけれど、大きさはない。

大きさが無いから、眼には見えないはずだけど、

「点」がつながれば「線」、「点」があつまれば「面」や「塊」になる。

はじまりの場所は「始点」、終わりの場所は「終点」。

地図の中にも「点」がある。「三角点」、「水準点」。

「大」という漢字に「点」がつくと、「犬」、「太」。

意味を伝える「点」もある。「点字」、「モールス信号」。

印刷した写真やテレビの画面も大きく拡大してみると、

たくさんの「点」のあつまり。

夜空の「点」は、宇宙の星たち。

「点」からはじまるあそび。

dot + 点

……ここからはじまる……

2010.12.18(土) …………… 2011.1.23(日)

愛知県児童総合センター(愛・地球博記念公園内)

開館時間：9:00…17:00 休館日：12/20、12/29…1/1、1/11、1/17

入館料：中学生以下無料、その他300円 主催：愛知県児童総合センター(財団法人愛知公園協会)

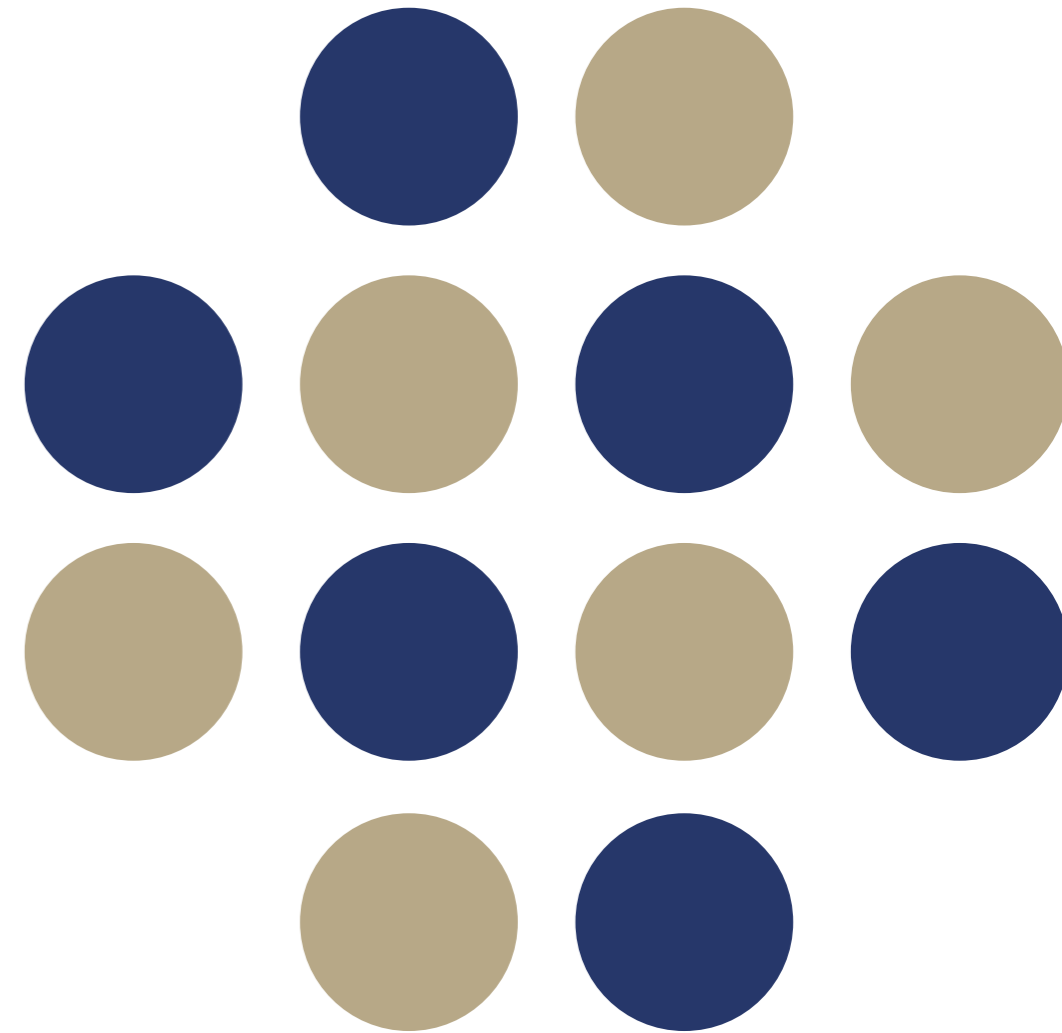
子どもとおとな、ドキドキ発見!

ACC

Aichi Children's Center

レター

News Letter 2010-2011 冬



愛知県児童総合センター

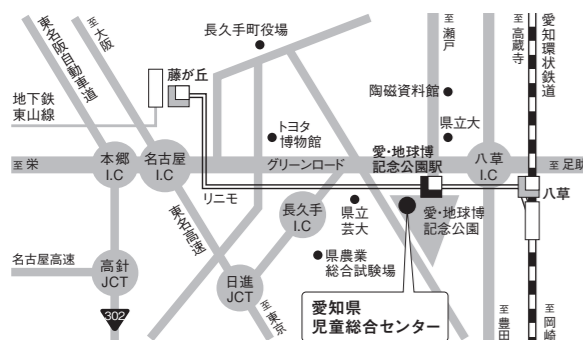
〒480-1101 愛知県愛知郡長久手町熊張(愛・地球博記念公園内)
TEL 0561-63-1110 <http://www.acc-aichi.org/>

開館時間 = 9:00 - 17:00 入館料 = 中学生以下無料、その他300円

12月の休館日 = 6、13、20、29 - 31日
1月の休館日 = 1、11、17、24、31日 2月の休館日 = 7、14、21、28日

公共交通 …… 地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から
機関で リニモ「愛・地球博記念公園駅」下車

車で …… 東名高速・日進JCT經由名古屋瀬戸道路長久手ICから
足助方面すぐ(愛・地球博記念公園 北駐車場利用)



愛知県児童総合センターは「遊び」をテーマにした県立大型児童館です。1996年の開館以来、子どもと大人がともに、心と身体をフルに活用して遊ぶことで、新しい気づきや実感できる時間と空間を提供しています。また、遊具や遊びのプログラム開発、よりよい児童環境のためのネットワークづくり、セミナー・研修、調査・資料収集、移動児童館など多岐にわたる活動を行っています。



編集・発行 / 愛知県児童総合センター(財団法人愛知公園協会)



特集 1

あのねっとの へや

大人にも子どもにも心地よい時間が流れる場所

大人にも子どもにも心地よい時間が流れる場所、新しい楽しみが発見できる場所、笑顔になれる場所「あのねっとのへや」。平日は、小さな子どもとお母さんお父さんでにぎわい、休日には多くの小学生も遊びに来てくれます。「あのねっとのへや」で行った「看護師のプチセミナー」や「トコトコプログラム」「あのねっとクラブ」に参加した親子が友だちを誘ってまた遊びに来てくれたり、スタッフにとってもお母さんや子どもたちに「また会える」喜びが多いのもこの部屋の魅力です。出会った子どもたちの成長を、お母さんお父さんたちと一緒に感じていける…子育てを分かち合える場所でもあります。



「大人が楽しいと子どもはうれしい」という考え方をベースに、大人も夢中になれるおもちゃや絵本、スタッフによるきっかけ作りなど、取って部屋全体の対象年齢を定めず、それぞれの年齢よっての楽しみ方、遊びの展開が自由にできるように、親子で遊ぶ環境を整えています。「あのねっとのへや」には、親子の時間を楽しくしむかけがいくつかあります。部屋の入り口にある感触を楽しむ「おしゃべりなロープ」。「どれが好き?」「どれが気持ちいい?」そんなお母さんお父さんの問いかけに、子どもたちも一本一本ロープの感触を楽しみ、お気に入りを見つけています。部屋の中では、手触りを楽しむ「いろいろなパネル」が壁面を彩ります。大人の目線の高さ

にあるパネルに、子どもたちは抱っこをしてもらったり、台の上に立って支えてもらったりしながら、同じ色であっても手触りが違うパネルの感触を楽しんでいます。また、絵本との出会いも大切にしていきたいと考えています。テーマを決め1ヶ月ごとに変わる新しい絵本や子育てをして再び出会った絵本が、読み手のぬくもりや絵本のぬくもりを伝えてくれます。木のおもちゃは、ひとつひとつがボックスに入っています。開ける楽しみも「遊び」です。ここには何が入っているのかな…開けておもしろい笑顔になり、おもちゃとの出会いを演出しています。子どもはもちろん、お母さんお父さんにも遊んでもらいたいおもちゃばかりです。ぜひ親子で遊んでみてください。

あのねっとクラブ

2歳半から3歳の子どもの親を対象にしたわくわくするような感覚遊びを中心に行う全8回の遊びのクラブです。子どもたちそれぞれのペースに親が寄り添い、参加者の気持ちにスタッフが寄り添うスタイルで、「大人が楽しい」と子どもはうれしい」を合言葉に子どもと遊ぶ時間を親も一緒に身体を動かして楽しみます。「遊び」を通して子どもの新しい姿の発見、子どもと向き合う中で自分自身の発見など多くの気づきがあります。プログラム終了後の「ママのコミュニケーションタイム」では、自分のことや子どものことを話し、他のお母さんの話を聞く中で、子どもとの暮らしを楽しむきっかけや「親」という役割を担った自分を見つめなおす時間を過ごします。

動き始めのころ— 「いたずら」とのつきあい

柔らかく、甘い匂いにする天使のようだった赤ちゃんも、一人で動き回るようになると、身体も縮まり、自分の意志を示すようになってきます。お母さんお父さんも、いつものやさしい声でいるわけにはいなくなつてきます。高いところの上ろうしたり、たすの引き出しをあけて、いつの間にか店開きしてたり…。好奇心旺盛で、世の中のものすべてが面白い、——に「こ」と瞳を輝かせて(大人から見たら)いたずらを行います。いやに静かだなあと思っていると、ティッシュペーパーの山が出来ていたりします。散歩に行くと、咲いて

子育てのおはなし

臨床心理士
後藤かをり

いる花を全部むしってしまったら、石を投げたり、お友達の手持っている玩具をひたたくったり、いろいろな事が起こります。私の息子は、ありんこ潰しが大好きでした。まだ片足で立つのもおぼつかないのに、足で「エイツ、エイツ」と真剣な顔で踏みつぶし続けました。「アリアンかわいそうでしょう」やめなさい!何度言ってもやめません。毎日散歩のたびに踏みつぶし続けました。私は、そんな息子がとても心配でした。「ちつともいうことを聞かない」「将来乱暴者にならないかしら」…心配し始めると、どんどん

不安が膨らみます。幸い、私の話を聞いた母は「(ありんこ潰しが)将来に結びつくなんて)そんなバカな!」と笑い飛ばしてくれました。そして母の言うとおり、いつの間にか息子は、もつと面白いことを見つけ、ありんこ潰しを卒業しました。面白いことやモノにまっしぐら。止められても叱られてもやめられませんが、自分のできることで、自分の力及ぶ範囲を確認しているのでしょう。生き物にやさしくしたり、友達と仲良くするのはもう少し先です。(大人から見ても)「いけないこと」も、その時すぐにやめなくても大丈夫

夫。大好きなお父さんやお母さんが快く思っていないことは伝わっています。今すぐ止めなくてはならないのは(自分と相手に危ないこと)だけ。それは、多分大人の悲鳴やとっさの素早い動きで伝わるでしょう。その他のことは「いけないよ」と伝え、どうすればよいか正しいやり方を教えましょう。脅しや恐怖で行動をコントロールするより、人と良い関係を作るために動くことを覚えるほうがどれだけよいかわかりません。小さい子どもたちとお父さんお母さんとの今まで築いてきた(関係)は、信じるに足るものだと思います。

特集 2

はかる?

これくらいってどれくらい

「はかる?! ~これくらいってどれくらい~」では、「大きさ」や「重さ」、「時間」、「温度」など、道具を使って「はかる」ことはもちろん、全身を使った新しい「はかりかた」や「くらべかた」、さらには自分の基準や単位をつくること、また「きれいさ」、「うれしさ」、「てざわり」、「おいしさ」など、普段はあまり「はかる」ことのないものにまで遊びの内容をひろげました。いろいろな「はかる」ことをテーマにした、約30種類の「遊びのプログラム」。ひとつひとつは小さな遊びですが、それらがつながって、今まで気づかなかった驚きや、不思議さなどに、子どもも大人も共感・体験することで大きな遊びになります。



たくさんのおそびをカードにしました。でも、「おそびのカード」は自由に選べません。「くじ」を引いて、出た番号によって遊びの内容が決まります。今日の遊びは「運まかせ!!」?



まずは、びったり500グラムの粘土をはかります。その粘土を全部使って高い塔をつくり、色ゲージで高さくらべ。



家族のサイズをあわせてはかります。みんなで体重計に乗ったら何キログラム?、頭をくっつけて、手のひらつなげて何センチ?



「空のいろゲージ」を使って、今の空をはかります。



大勢の子どもと大人が「せいくらべ」。自分の名前の一文字を選んでシールに書き、背の高さに貼ってガラスを飾ります。



一分間が長い短い? かくすのも、さがすのも一分間!! チーム対抗の「たからさがし」です。



「わくわく」「やさしさ」「つかれ」「いかり」…。今の自分の気持ちを表せるようにします。



いろいろな「手ざわりの箱」の中から好きな「手ざわり」をさがします。どれが好き?



いろいろな食材でジュースをつくります。ひとつまみ、少々、適量、…。はかってまぜてどんな味になるかをためてあそびます。

その他の「あそびのカード」

- 自分の単位** 自分だけの新しい単位をつくります。
- 風のむきはどっち?** 風になびいたひもで確かめます。
- はっぱはどうなる?** はっぱは時間が経つとどう変わる?
- ハーブのかおり** たくさんハーブから好きな香りを選びます。
- キラモ** キラキラのモビールをつくり、バランスをはかる遊び。
- 音あわせ** 耳をすまして、音くらべ。
- びりびりメジャー** 小さなお紙をなるべく長く破きます。
- あつい? つめたい?** 身体で床やカベの温度をはかります。
- 太陽時計** 自分のカゲの位置で時間をはかります。
- おなじ重さは** いろいろな大きさ、材質の立方体をはかります。
- びたりんピック** 水と小石。感覚で同じ重さをはかります。
- ひとつつかみは** 材料をひとつつかみ。色ばかりではかります。
- まめつぐす** ハシで豆を移動します。30秒間で何つぶ?



「はかる?! ~これくらいってどれくらい~」は、平成22年度の愛知県児童総合センター「夏季特別企画」として実施しました。(2010.7.17 - 8.31)

お知らせ
と
募集

祖父母力アップ事業

祖父母世代の保育で・子育てを応援するため、ふれあい交流会として「今の子育てと昔の子育ての違い」や「てあそび」「わらべうた」などの講座を県下10箇所で開催しています。子どもたちとのステキな時間を過ごすための、ちょっとしたヒント、アドバイスなど講師の先生からお聞きします。また、お互いの情報交換の場としてふれあい交流会の報告会を講演会とあわせて1月29日(土)に実施します。ぜひご参加ください。

第2回 元気スイッチon!! あつまれ! あいちのじどうかん ~ここにあるよ!みんな笑顔になれる場所~

愛知県には約300の児童館があります。その児童館が集まって「第2回元気スイッチon!!あつまれ!あいちのじどうかん」を開催します。子育て中の親を対象とした記念講演や、児童館の人気の遊びが体験できる「あそびば」がオアシス21に出現します。お楽しみに。(詳細が決定次第HPでお知らせします)

日時:平成23年3月12日(土)
会場:栄ガスビル、オアシス21(名古屋市中区)
内容:子育てに関する講演、および児童館の人気の遊びを体験するコーナーなど

日時:平成23年3月13日(日)
会場:ウイंकあいち(名古屋市中村区)
内容:支援者向けの分科会

ACCCあそびの企画会議

子どもたちがスタッフとともに、今まで思いもよらなかったような「もの」や「こと」、「ひと」などの出会いを通して、名前もない、全く新しい遊びを企画、開発していきます。対象:小学5年生から高校生まで年間を通して活動します。

くわしくはホームページまたはそれぞれの募集チラシをご確認ください
<http://www.acc-aichi.org/>
Tel 0561-63-1110